

Vol.55 / 新春号

平成28(2016)年2月1日発行
(年3回7・11・2月発行)

ひま

日農工会報

わり



年頭挨拶

日農工会長
経済産業省 製造産業局長・産業機械課長
農林水産省 技術普及課長



中国・青島出張報告



ベトナムの農業展示会出展報告



インド・チェンナイ



新社長の紹介



表紙撮影 西村万実さん

CONTENTS



年頭挨拶

年頭のご挨拶 (一般社団法人日本農業機械工業会会長 山岡靖幸)	1
年頭に寄せて (経済産業省製造産業局長 糟谷敏秀)	2
年頭所感 (経済産業省製造産業局産業機械課長 佐脇紀代志)	3
年頭所感 (農林水産省生産局農産部技術普及課長 真鍋郁夫)	4



中国・青島出張報告

日農工専務理事 田村敏彦	6
--------------	---



ベトナムの農業展示会出展報告

(経済産業省・JAPANブランド育成支援事業)	8
-------------------------	---



日農工だより 地方大会ご挨拶

	12
--	----



チェンナイ駐在始めました

株式会社クボタ 藤井良明	14
--------------	----



私の趣味 バイク遠征記(西日本編)

	18
--	----



除雪機による事故を防ごう!

	20
--	----



フォトギャラリー

	21
--	----



新社長の紹介 三菱マヒンドラ農機㈱ CEO代表取締役社長 末松正之

	24
--	----

「表紙」 撮影地：ルアンパバーン

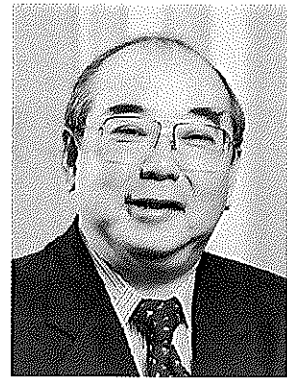
ラオス北部のルアンパバーンに行ってきました。人々はバケットをよく食べ、フランス植民地時代の名残りを感しました。村上春樹氏が本の中で「ルアンパバーンの風景には匂いがあり、音があり、肌触りがある。そこには特別な光があり、特別な風が吹いている。ただの思い出として終わってしまうかもしれない。それが旅というものではないか、それが人生というものではないか。」私の好きな一節です。

神奈川県 西村万実さん

年 頭 の ご 挨 拶

山 岡 靖 幸

一般社団法人日本農業機械工業会 会 長



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様方におかれましては、お健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、平素より本会にお寄せいただいております皆様方のご支援とご厚情に対しまして厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、日本の農業は大きな節目を迎えております。我が国の景気は、12月の内閣府・月例経済報告によりますと、「景気は、このところ、一部に弱さも見られるが、穏やかな回復基調が続いている」とされております。ただし、アメリカの金融政策の正常化が進む中、中国を始めとするアジア新興国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクがある状況であります。こうした中で、新たな成長戦略としてアベノミクス第二弾が示されております。

また、TPPが大筋合意に達し、「総合的なTPP関連政策大綱」が策定され、2年後に予定される協定の発効に向けて、この大綱を踏まえた対策が講じられることとなっております。

農業生産につきましては、各地で低温・日照不足、台風や大雨などの影響を受けたものの、27年産水陸稲の収穫量は、作況指数100、平年並みの収穫が見込まれております。

一昨年大幅に下落した米価につきましては、農協の概算払い価格の見直しに加え、需給関係の改善により、27年産米の10月の全銘柄平均の相対取引価格は、対前年比7.4パーセント上昇し、1万3千円を超える水準に回復しているところであります。

私ども農機業界の状況を日農工統計から見てみますと、昨年1月から11月までの累計生産・出荷実績は、生産額が4,080億円と前年同期比91%、出荷額が4,440億円、同99%で推移しております。その内、国内向けの出荷額は、2,690億円で93%となっております。排ガス規制による駆け込み需要があったものの、消費税率の変更に伴う駆け込み需要の反動からの回復の遅れに加え、米価下落の影響を受け、例年にない動きとなっております。

他方、国内の農業構造を見てみますと、依然として農業従事者の高齢化や農家戸数の減少が進むなど厳しさを増している状況にあります。こうした中で、政府は、昨年3月「食料・農業・農村基本計画」を閣議決定し、食料自給率の目標を定めるとともに、「強い農業」と「美しく活力ある農村」の創出を目標に掲げ、農業の持続的な発展のための、担い手の育成、農地の担い手への集積・集約化、生産・流通現場の技術革新などの施策を展開して行くこととしております。

また、これを受けて、農業機械分野におきましても、現在、農業資材審議会・農業機械化分科会において、今後の農業機械化政策の展開方向について、農業機械の研究開発・改良・普及、農業機械に係るコストの低減、農作業安全対策の推進といった観点からの細部にわたる検討が進められており、年度内に検討結果が示される予定となっております。

また、一昨年来、政府の呼びかけにより官民一体のトップセールスが活発に行われており、昨年は、8月に林農林水産大臣のベトナム訪問、10月に安倍総理の中央アジア5ヶ国訪問等に会員企業が同行しております。加えて、12月には政府の補助を得てベトナムの農業機械展示会に出展するなどの活動を展開しています。これらの活動を通じて、改めて信頼できる日本製の農業機械に大きな期待が寄せられていると感じているところです。

足下の状況には、厳しさがありますが、日本の農業が大きく変わろうとする中、農業機械が「農家のパートナー」として、しっかりと農業の担い手を支える役割を果たしていけるよう努めて参りたいと存じます。

日農工におきましては、こうした動きを適確に捉えて対応していくとともに、技術・安全・環境に関する事業、貿易振興に関する事業等、各種事業を積極的に進めて参ります。

関係各位のご理解・ご支援を申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭に寄せて

糟谷敏秀
経済産業省製造産業局長



平成28年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

安倍政権発足以来、機動的に積み重ねてきた政策の結果、雇用・企業収益は改善し、経済の好循環が生まれつつあります。

我が国製造業の事業環境については、経済連携協定への対応の遅れ、行きすぎた円高など「六重苦」が指摘されてきました。行きすぎた円高が是正されたのに続き、今般TPP協定が大筋合意したことは、我が国製造業の競争力強化に向けた大きな一歩となります。TPP協定に参加する11か国への工業製品輸出額（約19兆円）の99.9%について関税が撤廃されることにより、国内で質の高いものづくりを行う我が国企業の輸出の増加に大きく貢献することが期待されます。

過去3年間のアベノミクスにより、我が国はデフレ脱却までもう一息のところまで来ています。昨年末の政府の税制改正大綱では、経済の好循環を確実なものとするため、「法人実効税率20%台の来年度からの実現」と、史上初の「固定資産税の投資促進減税創設」を決めました。

企業の皆様には、これらの措置も活用しつつ、設備・技術・人材に対する未来に向けた投資と、3巡目の賃上げに向けた最大限の努力、あわせて取引先企業に対する仕入れ価格の上昇等を踏まえた価格転嫁を改めてお願いします。

政府としても、強い経済を生み出すために、人材開発、先端的な研究開発等を進めます。企業の生産性や収益力の向上に向けて、新たな技術を活用した、我が国製造業の意欲的な取組を支援します。

具体的には、第一に、少子高齢化への対応やものづくり現場の生産性向上のため、ロボットの活用を支援します。昨年2月に日本経済再生本部で決定した「ロボット新戦略」の推進のため、産学官から成る「ロボット革命イニシアティブ協議会」を昨年5月に設立いたしました。2020年までを「ロボット革命集中実行期間」と位置づけ、ロボットの市場規模を2.4兆円に拡大することを目指して、官民での総額1000億円のロボット関連プロジェクトへの投資や、ロボットバリアフリー社会に向けた規制改革等を推進してまいります。

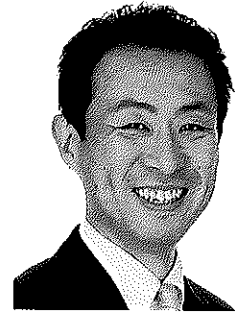
第二に、IoT等の新しい技術を活用し、生産性を高めたり、新たな収益源を創出する意欲的な取組を支援します。生産現場や経営の状態の見える化により、改善が容易になるだけでなく、データを起点とした新たな製品やサービスの創出により、稼ぐ力の向上に貢献します。こうした動きに対応した新たな製造業の姿を模索していくため、「ロボット革命イニシアティブ協議会」の中で、その課題や方向性につき議論を始めています。また、昨年10月に設立した「IoT推進ラボ」において、製造業と非製造業、大企業とベンチャー企業、日本企業と外国企業といった、様々なプレイヤーによる業種を超えた企業連携を促進し、資金・規制両面から集中支援することで、これまでになかったイノベーションを生みだしていくことを目指します。

末筆ながら、本年の皆様の御健康と御多幸を、そして我が国農業機械産業の着実な発展を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

年 頭 所 感

佐 脇 紀 代 志

経済産業省製造産業局産業機械課長



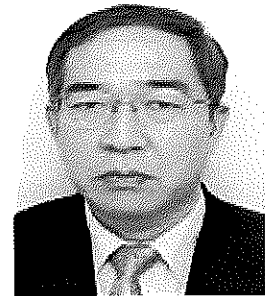
平成28年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。安倍政権が発足してから3年が経過しました。この間、デフレ脱却と経済再生を最重要課題とし機動的に積み重ねてきた経済政策の結果、雇用・企業収益は改善し、それが消費・投資に結びつくという経済の「好循環」が生まれつつあります。また、国際的な事業環境の面でも、行きすぎた円高の是正に続き、TPP協定の大筋合意がなされ、大きな弾みとなることが期待されます。TPP協定に参加する11か国に向けた工業製品輸出総額（約19兆円）の99.9%について関税が撤廃されるほか、ルール整備等の面で改善される項目も多々あり、国内で質の高いものづくりを行う我が国企業の海外への一層の飛躍に向け大きく貢献することが期待されます。さらに、税制においては、昨年度に着手した成長志向の改革をさらに大胆に推進し、法人税率を29.97%にまで引き下げ、併せて、地域の中小企業による設備投資を支えるべく、史上初の固定資産税での設備投資減税も決定されました。雇用・企業業績の着実な回復など、事業環境が改善しつつある今こそ、我が国製造業においては、設備、人材、イノベーションを含め、「未来への投資」をしっかりと行うことが重要です。経済産業省としても、昨秋、総理が表明された「希望を生み出す強い経済」の実現、とりわけ、我が国産業の稼ぎ頭である製造業の競争力強化に向け、これまで以上に支援してまいります。企業の皆様には、政府の各種施策も活用しつつ、設備・技術・人材に対する未来に向けた投資に挑戦いただくことを期待します。また、活力ある企業のエネルギーを駆動力として、裾野広く日本経済全体の活性化へと着実に繋げていくことができるよう、賃上げや、取引先企業に対する仕入れ価格の上昇などを含め社会と向き合うスマートな経営の実践に努めていただくことを改めてお願いします。我が国は、少子高齢化の進展と、これに伴う人手不足に直面しており、特にものづくりの現場では生産性向上が強く求められています。こうした課題の解決策として、デジタルとリアルを融

合させた新たな技術革新が大いに期待されており、とりわけ、その中核として、デジタル技術、メカトロ技術、人工知能等の総合力を詰め込んだロボットが注目されます。昨年は、安倍総理の下に設置した「ロボット革命実現会議」で「ロボット新戦略」を取りまとめ、2月には、日本経済再生本部において、これを政府方針として決定しました。また、5月にはこのロボット新戦略の推進母体として「ロボット革命イニシアティブ協議会」が設立されました。産業分野のみならず、農林水産、食品、医療・福祉、建設、社会インフラなどの様々な分野から産学官の意欲あるメンバーが参画し地に足のついた多様な活動が展開されています。政府としては、この協議会と協働し、2020年までの5年間で「ロボット革命集中実行期間」と位置づけ、ロボットの市場規模を2.4兆円に拡大することを目標に、我が国を世界のロボットイノベーション拠点とするロボット創出力の抜本強化、多様な分野でのロボットの利活用の促進、そして、ロボットを自律的に活用することを前提としたルールや国際標準の獲得・展開の3つを政策の柱として推進してまいります。また、ドイツのインダストリー4.0や米国のインダストリアル・インターネットなどに代表されるIoT等を活用した新たなものづくりへの動きが起きています。こうした動きを我が国でもチャンスととらえ、日本のものづくり力の飛躍につなげるべく、IoT等の新しい技術を活用し、生産性を高め、新たな収益源を創出する意欲的な取組を支援します。生産現場や経営の状態の見える化により、カイゼンが容易になるだけでなく、データを起点とした新たな製品やサービスの創出により、稼ぐ力の向上に貢献します。産業機械課は、これからも皆さんの生の声を聞き、それを産業政策に反映させていきたいと思っておりますので、良いアイデアやお困り事があったら、気軽にお声を掛けてください。最後になりましたが本年が皆様方にとって更なる飛躍の年となりますよう祈念いたしまして、新年の挨拶と代えさせていただきます。

年 頭 所 感

真 鍋 郁 夫

農林水産省生産局農産部技術普及課長



平成28年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。一般社団法人日本農業機械工業会会員の皆様方におかれましては、平素より農業機械の開発及び普及にご尽力頂き、我が国農業の発展に多大なるご貢献を頂いており、改めて厚く御礼申し上げます。

昨年3月に閣議決定された新たな「食料・農業・農村基本計画」では、生産現場を強化し、高付加価値化等を進めて農業を成長産業としていくため、担い手へのさらなる農地集積や経営規模の拡大など、今後10年の農政の方向性が示されました。

この実現のためには、構造政策の推進と併せ、大規模経営に適合した省力栽培技術や作期分散等が可能となる品種の開発、ロボット技術・ICT等を活用したスマート農業のような先進技術など、生産・流通システムの革新につながる技術導入が必要と考えております。

こうした課題に対応するとともに、我が国農業の成長産業化を実現する観点から、国では、昨年5月以降、農業資材審議会農業機械化分科会において、

- ① 農業機械の開発・改良・普及
- ② 農業機械に係るコスト低減
- ③ 農作業安全対策の推進

を中心に、様々な観点からこれまでの農業機械化に関わる政策についてご議論頂き、農業機械化政策の方向性等について、「今後の農業機械化政策の展開方向（中間論点整理）」（平成27年10月）を取りまとめました。本年は、それぞれの取組について具体化を進め、実効性ある施策を推進していきたいと考えております。

① まず、農業機械の開発については、生産・流通システム全体を見渡して、品種・栽培体系技術と一体的な研究開発を展開するとともに、担い手のニーズを効率的に吸い上げ、農研機構の作物部門と生研センターが一体となって、地域農業研究センターと連携しながら、全国・地域レベルでの開発・改良を進めていきたいと考えております。

さらに、スマート農業の将来像や「ロボット新戦略」の実現に向け、異分野の研究機関と連携し、革新的な農業機械の開発を展開して参ります。

② コスト低減に関して、農業機械は、農業経営の改善に不可欠ですが、例えば稲作生産では、農機費は、生産コスト全体のうち約2割を占めています。「日本再興戦略 改訂2015」（平成27年6月）においても、コメの生産コスト4割削減がKPIとして設定されておりますが、農地の集積などの取組とともに、農業機械コストの低

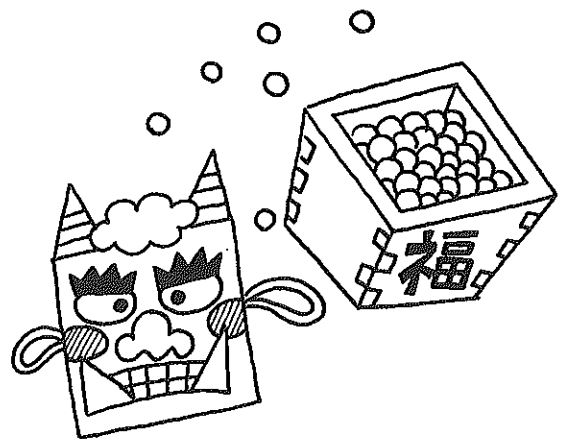
減の取組が重要となります。

また、昨年10月には、TPP協定の大筋合意をみました。世界的に大きな経済圏が生まれ、更なる経済成長が期待されていますが、一方で、農林漁業現場からは、懸念、不安の声が多く寄せられています。

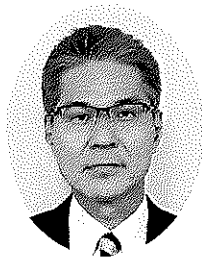
このため、昨年11月には「総合的なTPP関連政策大綱」がまとめられ、農林漁業の再生産はもとより、「農政新時代」という新たなステージの下で、生産者が持つ可能性と潜在力を発揮できる環境づくりに取り組んでまいります。また、大綱では、今後継続的に検討する事項として、農業機械も含め「生産者の所得向上につながる生産資材価格形成の仕組みの見直し」が位置付けられました。結論を得るのは平成28年秋とされており、農業者の所得向上の観点から、関係者の皆様と本格的な検討を進めていきたいと考えております。

- ③ そして、農作業安全対策についても、年間400人前後の方が農作業死亡事故で亡くなっている大変重要な課題です。実効性ある農作業安全対策に必要なPDCAサイクルの構築に向けて、事故情報の収集・分析体制の強化や農業機械メーカーにおける安全設計を一層促進するとともに高齢者をはじめ農業者一人一人の安全意識の向上や、安全に作業できる生産環境の整備など、実効性の高い取組を関係者の皆様とともに進めていきたいと考えております。

これらの課題への取組に向けて、本年はより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、会員の皆様方の益々のご健勝とご活躍、そして我が国農業の更なる発展を祈念いたしまして、私の新年のご挨拶とさせていただきます。



中国・青島出張報告



田村 敏彦
(日農工・専務理事)

2015年10月27日に中国の青島で開催されたアグリエボリューション・Economic Committee Meetingに出席してきました。その概要を報告します。

日時：10月27日(金)9時30分～16時

場所：青島、Grand Mercure Hotel (世界貿易エキスポセンターに隣接)

ホスト：中国農業機械流通協会 (CAMDA)

参加国：米、仏、伊、英、露、土、中、日

日農工出席者：田村、松山



Economic Committee Meetingの様子

【会議の内容】

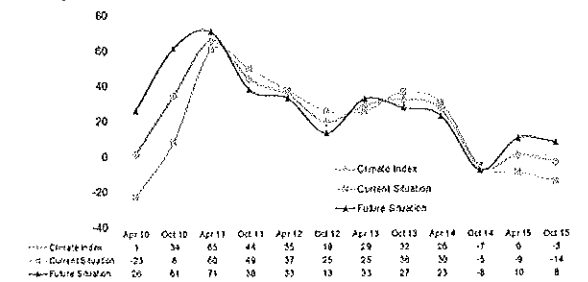
毎年秋に各国メンバーが集まり、各国の農機市場動向等について情報共有するとともに、世界市場動向について概要をとりまとめて公表している。

併せて、各国の主たる農機メーカーに市場動向についての意識調査を定期的(4月、10月)に行っており、その結果が事務局(独VDMA)から報告された。

＜調査結果の分析＞

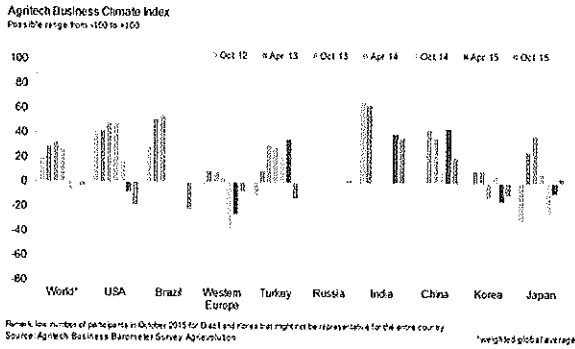
- ・農機市場はグローバル的には下降傾向にあり、まだ底を打っていない。
- ・中国とインドは好調で、将来見通しもポジティブである。
- ・欧州で少し持ち直しが見られるものの、トルコは急激に悪化している。
- ・米国とブラジルは需要が弱く、見通しもネガティブである。
- ・政府支援に満足しているのは、ロシアと中国のみ。
- ・農家が低価格志向になっており、短期的にはこの流れは変わらないだろう。

AgriTech Business Climate Index
Possible range from -100 to +100



Source: AgriTech Business Barometer, Agriculture

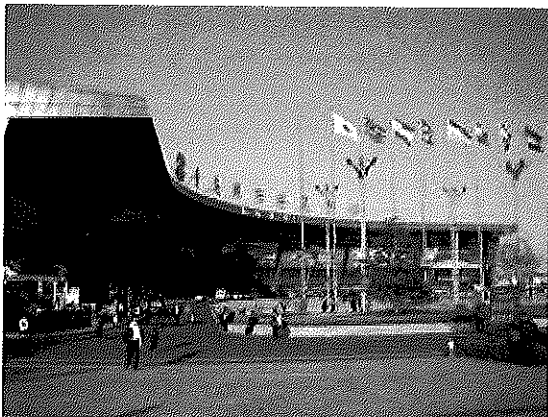
weighted global average



【番外編】

2015年10月26～28日に青島市郊外の世界貿易エクスポセンターで開催された国際農業機械展示会(CIAME)を視察しました。広大な敷地に十数棟の展示棟のほかにも屋外にも展示スペースがあり、屋内には日本を含む海外メーカーを中心に大型機械が展示され、屋外には中国の中小メーカーの小型機械などが展示してあった。農機の部品から日用雑貨や時計や玩具まで展示してあるところは中国らしかった。ドローンも展示販売しており、デモ飛行には多くの野次馬で混雑していた。

展示してある装飾品を平気で持ち帰る人が散見されたが、展示者側も心得たもので、適宜補充している光景は「郷に入っては郷に従え」ということか。



国際農業機械展示会 (CIAME)

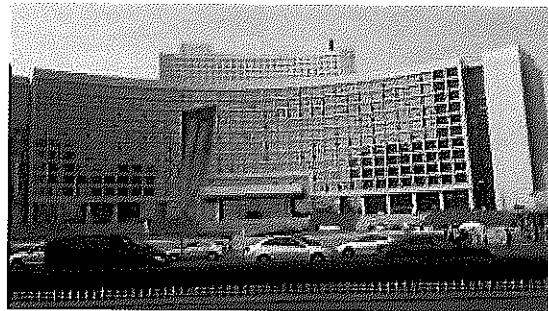


屋外の展示会場

青島市は、中国東部沿岸の重要な経済と文化の中心地で、近代的な製造業やハイテク産業基地も立地する国際商業都市です。街のいたる所に銀行があるのも合点がいきます

かつてドイツの植民地だった名残りで当時の西洋館が数多く残る地区は、今や観光名所になっています。街並みも比較的綺麗に整理されているのも、歴史的背景によるものでしょう。

青島と言えばビールが有名ですが、これもドイツが醸造技術を持ち込んだものだと思います。クセのない飲みやすいビールは日本人の口にもよく合います。



立派な青島市庁舎



青島栈橋と回瀾閣

(了)

AGROTEX

ベトナムの農業展示会出展報告

(経済産業省・JAPANブランド育成支援事業)

日農工は、今回で3年目となる経済産業省の「JAPANブランド育成支援事業」の補助を受けて、平成27年12月2日(水)～6日(日)の5日間の日程でベトナム・南部のカントー市で開催された農業展示会「AGROTEX2015」にジャパンブースを出展しました。

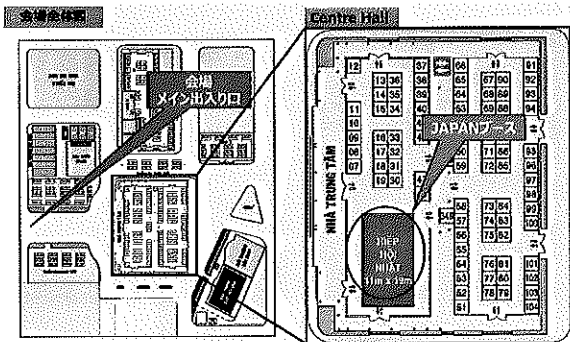
ジャパンブースでは、8社の出展による農業機械の展示・実演と併せて、ビデオ・カタログ・パネルによるPRを行い、販売網の構築・拡大を目指したマーケティング活動や受注に向けた活動を行いました。

1. AGROVIET 2014 概要

- [名称] AGROTEX 2015 ハイテク農業・商品展示会
- [場所] カントー市貿易・投資促進展示センター
- [主催] ベトナム商工会議所
- [会期] 平成27年12月2日(水)～6日(日)
- [来場者] 40,000人(5日間/入場料無料)
- [全体ブース数] 約200ブース
- [出展製品] 農業機械・技術、農薬、肥料、農業資材、農産物、伝統工芸品など

2. 日程

- 11月30日(月) 午前：成田空港/関西空港 → タンソンニャット空港(ホーチン)
- 午後：バス(カントーへ移動)
- 12月1日(火) 終日：搬入作業・ブース設営
- 12月2日(水) 終日：展示会対応
夕方：開会式
- 12月3日(木) 終日：展示会対応
- 12月4日(金) 終日：展示会対応
- 12月5日(土) 終日：展示会対応
- 12月6日(日) 午前：展示会対応/閉会式
午後：搬出・ブース解体
- 12月7日(月) 午前：搬出作業・ブース解体
午後：バス(カントー → タンソンニャット空港)
- 深夜：タンソンニャット空港
- 12月8日(火) 午前：成田空港/関西空港



展示会場全体図



開会式(中央:Ninh副首相)

3. ジャパンブースの出展会社/出展機械

- 金子農機(株)/循環型穀物乾燥機
- カンリウ工業(株)/籾すり精米機、白米選別機、石抜き機、製粉機
- (株)啓文社製作所/自動播種機、手押し播種機
- 静岡製機(株)/循環型穀物乾燥機
- (株)ダイシン/自走式草刈機、ポンプ
- マルマス機械(株)/籾すり精米機、精米機
- (株)山本製作所/穀物乾燥施設(パネル)
- (株)やまびこ/乗用管理機、スピードスプレーヤ、クローラスプレーヤ、動力噴霧機、背負動力散布機、刈払機、チェンソー等
- 日農工(対応者) 総務部次長 松山 徹
総務部 吉村英敏

展示会期間中の商談件数、引合件数

	来場者数	商談件数	引合件数
12/2(水)	1,626	114	42
12/3(木)	1,356	138	26
12/4(金)	925	113	22
12/5(土)	864	79	14
12/6(日)	330	36	5②
合計	5,101	480	109

注：丸数字は成約件数

JAPAN BRAND Creating New Traditions **JAMMA**

▼ LOCATION



▼ Exhibitors

8 leading companies of JAMMA member are exhibiting as representative of the association, officially supported by Ministry of Economy, Trade and Industry of Japan to introduce not only our latest technologies but also our "agri-culture" based on Japanese long history of agricultural producing and it's tradition.

Japan Agricultural Machinery Manufacturers Association (JAMMA)
 Contact: Ryofaro Tomita
 +81-3-6265-1755 +81-70-1254-8237
 Email: jfatus@bjpc.co.jp Web Site: http://www.jamma.or.jp/infomation/057016.html

JAPAN BRAND Creating New Traditions **JAMMA**

Grain Dryer (AJ-P3000) AJI-TECH CO., LTD. URL: http://www.aji-tech.co.jp	Rice Huller & Miller (SRH1552E-T) KAWASUMI INDUSTRY CO., LTD. URL: http://www.kawasumi.co.jp	Automatic seeding Machine For Rice KEIBUN URL: http://www.keibun.co.jp	Grain Dryer (HSD-150MS) SHIMIZU SEIKO Co., Ltd. URL: http://www.shimizu-seiko.co.jp
Roller Mower (SRM-1820) Daiichi Kasei Co., Ltd. URL: http://www.daiichi-kasei.co.jp	Rice hulling & milling Machine (MRH-1500) Mitsumi Koki Co., Ltd. URL: www.mitsumi.co.jp	Grain Dryer (HSD-150MS) MITSUBISHI CO., LTD. URL: http://www.mitsubishi.co.jp	Self-propelled Sprayer (RS59Y) ECHO CORPORATION URL: http://www.echo.co.jp

ジャパンブース概要・各社展示物紹介チラシ
 (各社展示物紹介チラシ1,000部配布)

4. ジャパンブースの各社の様子



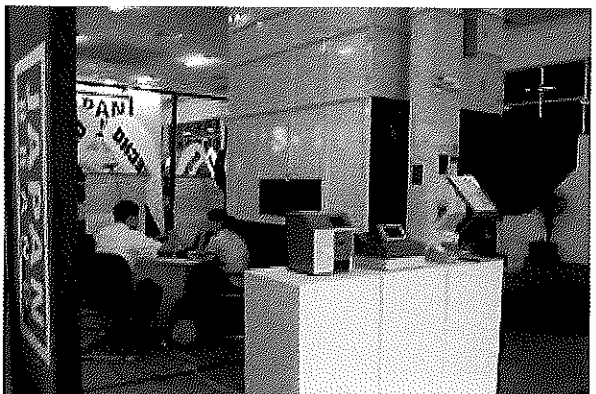
金子農機(株)



カンリウ工業(株)



(株)啓文社製作所



静岡製機(株)



(株)ダイシン



マルマス機械(株)



(株)山本製作所



(株)やまびこ

5. ジャパンブース以外の出展

今回の展示会では、出展者リストが配布されていないため、確認できた範囲内で農業機械関連の出展企業は以下のとおり。

- BUHLER／粃すり機、選別機、精米機、色彩選別機
- BUI BAN NGO／粃すり機、選別機、精米機
- DONG HAI／背負動力散布機、刈払機、ポンプ、発電機、ガソリンエンジン、人力噴霧機
- DC POWER／耕うん機、車軸型耕うん機、運搬

機、リーパー

- DKSH／トラクタ、色彩選別機
- GIANG／ミニロールベアラ、フォレージハーベスタ、バインダ、クローラ
- HBC／耕うん機、発電機、サブソイラ、播種機、部品（耕うん爪、ディスクプラウ、チェーン、ユニバーサルジョイント、シール材等）
- HOANG LIEM／人力播種機
- INTESO／車軸型耕うん機
- KUBOTA／トラクタ、汎用コンバイン、ロータリ
- LAMICO／粃すり機、選別機、石抜き機、精米機、計量機
- MARUYAMA／背負動力散布機、背負動力噴霧機、刈払機、チェンソー、ポンプ、水田用兼用管理機、自走式動力噴霧機
- NHA NGUYENH／ハウス用資材
- VEAM／トラクタ、耕うん機、リーパー、横形水冷ディーゼルエンジン、ガソリンエンジン、ギアボックス

6. まとめ

ベトナムは1987年のドイモイ政策導入後、順調に経済発展を遂げてきた。同国の主要産業である農業は、稲作が中心で小規模農家が多数を占めるなど、日本の農業環境に比較的類似性が高い。

北部の紅河デルタで生産されるコメは、自家消費用が大半であり、南部のメコンデルタは、ベトナム最大のコメ生産地域で、商業的なコメ生産が行われている。

メコンデルタの大規模化した一部の農家や農業法人では、性能のよい農業機械が利用されているが、大半を占める小規模農家は、安価な中古機を所有するか自分では農業機械をもたず、耕起作業や収穫作業は請負業者に委託して農業を営んでいる。

稲作関連の農業機械の普及が期待される中、農業機械販売ルート構築・拡大及び農機輸入代理店及び農機販売会社の発掘・選定のため、展示会に出展した。

JAPANブースには、Ninh副首相をはじめ、数多くの農業関係者が来場し、農業機械の実演・商品説明を熱心に見聞きするなど、日本の農業機械に関心が高いと感じた。現に、5日間の展示期間

で引合件数も100件を越えた。また、報道機関からの取材や各地でのビジネスミーティングの提案を受けた。

今後、ベトナムの農業が安定的発展を遂げる過程の中で、農業機械の普及は必須である。日本の農業機械を広く認知してもらう上でも、このような展示会活動を続けていくことの重要性を痛感した。

7. 最後に（雑感）

AGROTEX2015では、ベトナムの農産物、加工食品、民芸品のブースも数多くあり、果実酒・油・家具・苗・肥料・漢方など様々な展示があった。

12月とは言え日中の気温は30℃を超ため、涼しくなった頃に外へ繰り出すという習慣があるようだ。涼しくなった夕方からは子供連れの家族が増え、展示会場内も一段と賑やかになり、お祭りのような雰囲気があった。今回の展示会開催時間が8時から21時であったことも納得できた。



農産物によるアートを飾っているブース

展示会初日、スコールに見舞われた。ジャパンブースは屋内だったので影響は無かったのだが、屋外ブースではテントの屋根に雨水がみるみる溜まっていった。強烈なスコールの中、テントによじ登り貯まった水を掻き出すスタッフもいた。

また、屋根なしのブースに大型籾すり機や選別機が数多く展示されていたのだが、いつの間にか全ての機械にシートが掛けられ、ロープでぐるぐる巻きになっていた。現地の方は、事前に「これからスコールが来る！」と判るようだ。

バイク社会のベトナムには、道路を無数のバイ

クが行き交っている。バイクの数は想像以上で車間距離が極端に狭いが、みんなが流れに乗って秩序良く走るためにトラブルは少ないのだろう。

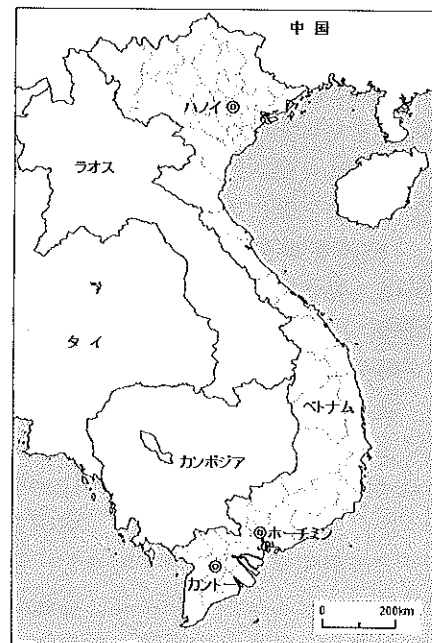
バイクに乗っているときの爽快感を体感したいと思っていたところ、バイクタクシーがあることを知った。ホテル前の歩道でバイクのシートに上手く寝そべっている人たちがいたのだが、これがバイクタクシーで、昼寝ではなく客待ちをしているとのこと。残念ながら展示会場が道路向かいであったため、利用する機会はなかったが、ベトナムでの庶民の足、一度は乗ってみたいと思った。

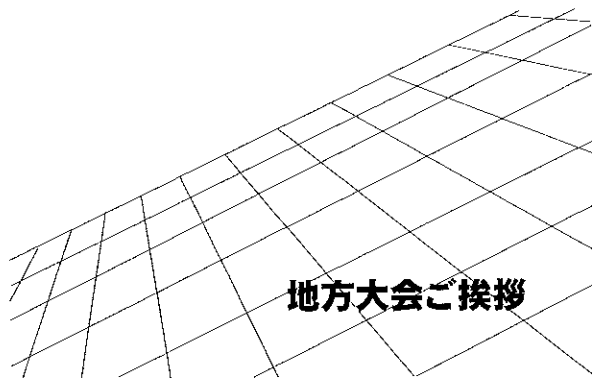
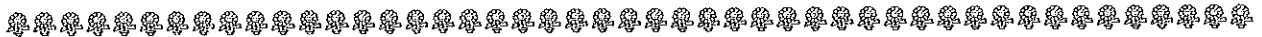
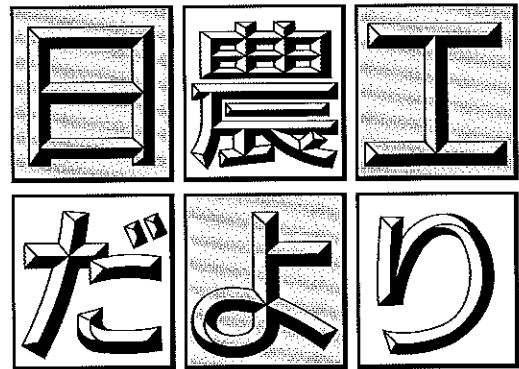
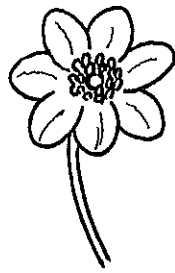
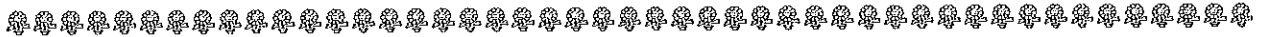


▽カントーは、ホーチミンから西南に約160kmのところの位置し、大穀倉地帯のメコンデルタ地区最大の都市で人口は約おおよそ112万人。

▽気候は熱帯モンスーン、年間を通して典型的な乾季（12月～4月）と雨季に区別されている。

▽大穀倉地帯でもあるメコンデルタ流域には網の目のように延びた多くの水路があり、毎朝開かれる大規模な水上マーケットが有名である。





平成27年10月23日(金)長野市・ホテル国際21にて、地方大会(第136回理事会)を開催しました。その際の山岡会長からのご挨拶です。

◆会長挨拶

平成27年度の「日農工・地方大会」を開催するに当たり、一言ご挨拶を申し上げます。この度の長野市での地方大会開催をご案内しましたところ、会員の皆様には大変お忙しい中、多数のご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

また、経済産業省の佐脇課長様、農林水産省の原室長様、農研機構の西村理事様をはじめ、ご来賓の皆様には、公務ご多忙の中、ご臨席を賜わり、厚く御礼申し上げます。

さて、我が国の景気は、10月の内閣府・月例経済報告によりますと、「景気は、このところ、一部に弱さは見られるものの、穏やかな回復基調が続いている」とされておりますが、中国を始めとするアジア新興国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクがあり、金融資本市場の変動が長期化した場合の影響に留意する必要があります。

こうした中で、先般、TPPが大筋合意に達し、

「総合的なTPP関連政策大綱」が策定されることとなっております。また、新たな成長戦略としてアベノミクス第二弾が示されました。

農業生産につきましては、各地で低温・日照不足、台風や大雨などの影響を受けたものの、27年産水稻の9月15日現在の作況指数は100と、平年並みの収穫が予想されております。

昨年大幅に下落した米価につきまして、農協の概算払い価格の見直しもあり、27年産米の9月の全銘柄平均の相対取引価格は、対前年比5.6パーセント上昇し、1万3千円を超える水準に回復してきているところであります。

他方、国内の農業構造を見てみますと、依然として農業従事者の高齢化や農家戸数の減少が進むなど厳しさを増している状況にあります。

こうした中で、政府は、本年3月「食料・農業・農村基本計画」を閣議決定し、食料自給率の目標を定めるとともに、「強い農業」と「美しく活力ある農村」の創出を目標に掲げ、農業の持続的な発展のための、担い手の育成、農地の担い手への集積・集約化、生産・流通現場の技術革新などの施策を展開して行くこととしております。

また、これを受けて、農業機械分野におきましても、現在、農業資材審議会・農業機械化分科会において、今後の農業機械化政策の展開方向について、農業機械の研究開発・改良・普及、農業機械に係るコストの低減、農作業安全対策の推進といった観点からの細部にわたる検討が進められており、年度内に検討結果が示される予定となっております。

本年度の日農工の活動につきましては、こうした動きに適切に対応しつつ、5月の総会で承認さ

れました事業計画に即して、各種事業について順調に進めてきております。

いくつか申し上げますと、まず、農作業安全啓発活動につきましては、岡山県中古農業機械モデルフェアへの出展を行っており、秋田県種苗交換会への出展も準備しております。

海外展開につきましては、8月に林農林水産大臣に同行してベトナムに、そして本日から安倍総理に同行して中央アジアに会員企業が訪問しております。また、経済産業省の補助金を得て、12月にベトナムで展示会に出展することとしております。

そのほか、生産性向上設備投資促進税制の証明書発行業務につきましては、9月末現在で952件となっておりますし、マイナンバー制度につきましても適確に対応すべく準備をしているところであります。

更に、農機業界において経済活動のグローバル化が急速に進む中、企業コンプライアンスの確立は重要な経営課題であります。業界団体においても同様に重要なことから、本日、先ほどまで開催いたしました幹部会におきまして、「日農工コンプライアンス指針」を承認したところであります。このことによって、当会もコンプライアンス遵守の徹底のもと、より信頼性のある団体として、事業の展開、情報の発信に邁進してまいりたいと考えております。後ほど事務局より詳しく説明させていただきます。

さて、私ども農機業界の状況を日農工統計からみてみますと、本年1月から9月までの累計生産・出荷実績は、生産額が3,530億円と前年同期比92%、出荷額が3,800億円、同97%で推移しております。その内、国内向けの出荷額は、2,380億円で92%となっております。排ガス規制による駆け込み需要があったものの、消費税率の変更に伴う駆け込み需要の反動に加え、米価下落の影響を受け、例年になく動きとなっております。

後ほど各部会の機種別の需要見通しについて、各部会長、国際委員長から詳細な報告をいただくこととしております。国内外の状況を踏まえ、今後の方向について、率直な意見交換をしていただきたいと思いますと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

地方で日農工の会員の皆様が一堂に会える機会は、年に一度であります。会員間の親睦を深めていただく良い機会ですので、おおいに交流してい

たきたいと思います。

最後になりますが、会員各位のご繁栄を願い、併せて業界の発展にご尽力を賜われますようお願い申し上げます。私の挨拶といたします。ありがとうございました。

日農工今後の主な予定

- ◇平成28年3月28日(月) 理事会
機械振興会館 14:30~(予定)
東京都港区芝公園3-5-8

- ◇平成28年5月30日(月) 定時総会
従業員功労表彰式
八芳園 15:00~(予定)
東京都港区白金台1-1-1

- ◇平成28年10月21日(金) 地方大会
松山市を予定

チェンナイ駐在始めました

株式会社クボタ

Director, Coordinator Sales Management & Planning
Kubota Agricultural Machinery India (P) Ltd

藤井良明 Yoshiaki FUJII

I. 人口

私の住むチェンナイ（1996年にマドラスから改名）は南インドのベンガル湾に面するタミル・ナードゥ州の州都であり「南インドの玄関口」とも形容され、自動車産業、IT産業が盛んなインド第四位の都市です。たまにタイのチェンマイと間違えられますが全く違う都市です。都市圏人口は約870万人。日本人会の登録が2015年8月末日現在、720人（うち子供156人）とのことですから、おそらく1,000人近くの日本人が暮らしていると推測されます。

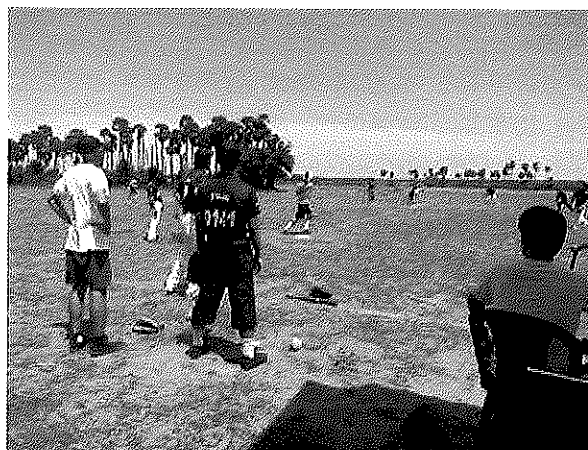
チェンナイの特徴として、程よい人数故かもしれませんが、日本人会の活動が非常に盛んで、参加率も高いことが挙げられます。特に年末の忘年会は新入りの駐在員がグループ分けられ、ステージ上で新人芸を行う伝統があります。その気合の入った出し物は非常にレベルの高いものばかりです。



忘年会 新人芸の発表 仕事よりも真剣です



忘年会 会場の様子



ソフトボール大会酷暑の中激戦が繰り広げられます

◎大運動会



幼児から60代まで幅広い参加者で盛り上がります

II. 気候

Hot, Hotter, Hottestと言われ、年中暑い。しかも海に面した街なので多湿です。5-6月が一番熱くなります。といっても40℃超える程度。インド内陸は50℃超えもザラですので数字のインパクトは無いですが、チェンナイは多湿な為、不快指数はインド国内No.1と言われています。冬場12-2月は気温下がり比較的過ごしやすくなるのですが蚊が増え、最近は大気汚染が問題となっています。

デリーではPM2.5(ug/m3)が400ug/m3超え、中国よりも大気汚染が深刻といわれていますが、チェンナイはそこまで行かないものの冬場は100ug/m3を超える日もあり視界が悪くなります。

III. 言語

ルピー札には15個の言語でその紙幣額が表記されています。主な言語として22の指定言語が

憲法でも指定されています。タミル・ナードゥ州では母語としてタミル語が話されていますが、州外出身者とのコミュニケーションには主に英語が使われています。タミル・ナードゥ州は少し特殊な事情がありまして、連邦政府レベルの公用語であるヒンディ語ができる人は稀です。英語が公用語となっています。インドに魅了されヒンディ語を勉強している人、残念ながら当地では全く活かされません。一般的に北インドはヒンディ語が通じるが、南インドは限定的。その代わり南インドは英語が通じやすいという傾向があります。

IV. インドあるある

タミル・ナードゥ州は南国で海があり英語が通じて、いわゆるインド本にあるような混沌とした世界とは無縁であるかのように思った方もいるかもしれません。

勘違いです。駐在された方はもれなくヒドイ目に遭います。仕事面でも生活面でも。

通常の世界ではありえない悲惨な体験談は“インドあるある”と言われ、仲間内で酒の肴となります。言い忘れましたが、タミル・ナードゥ州はお酒に関しては厳格なようで、基本的にホテル以外ではお酒が出ない。購入するにもまともなお酒は入手出来ません。お酒が好きな方は確実にヒドイ目に遭います。

V. 究極のダイバーシティマネジメント？

以前、日本をよく知るインドの方に言われたことがあります。インドのマネージャーは複雑なカタチのジグソーパズルを組み合わせる能力が必要。人材にしても日本人みたいに整ったカタチではなく、バラバラで自分のカタチを組織に合わせない、変化していくから大変だと。

今になってよく分かります。そんなに都合良くカタチの合うピースなどない訳で、大抵の場合はいつまでたっても完成せず、提供される商品・サービスも・・・。逆に言うと、この難しいパズルに怯まず、細かいことは気にせず、スピーディーに、アドリブ力全開で組み上げるのがインド人の優秀なマネージャー像なのでしょう。

VI. チェンナイの自慢できるところ

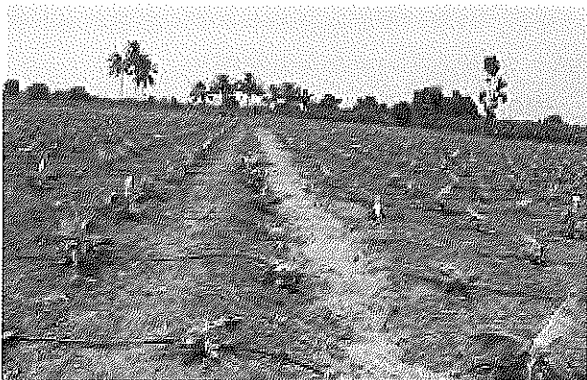
日本人がインドのこと、チェンナイのことを書く場合、どうしても悪い所を指摘しがちなので、良い点を探してみたいと思います。

- ①ビーチがある。年中半袖で過ごせる。南国リゾートの雰囲気若干ある。
- ②他の都市よりも治安が良い。
- ③韓国料理、日本料理のレストランがそれなりにある。
- ④世界遺産 マハーバリプラム遺跡群がある。
あーっ、自慢できるようなもの無い…。

VII. インドの農村への出張

農機業界に身を置く者としては市場に赴かなければなりません。出張はチェンナイ周辺の南インドだけでなく、各地を訪れます。インドの農地面積は1億7,000万haでUSAに次ぐ第2位、水田面積は4,400万haで世界最大の面積を誇ります。ざっくり言うと、北西は小麦・雑穀が主、南東は米が主となっています。豆類、シュガーケーン、綿花なども多く栽培されています。

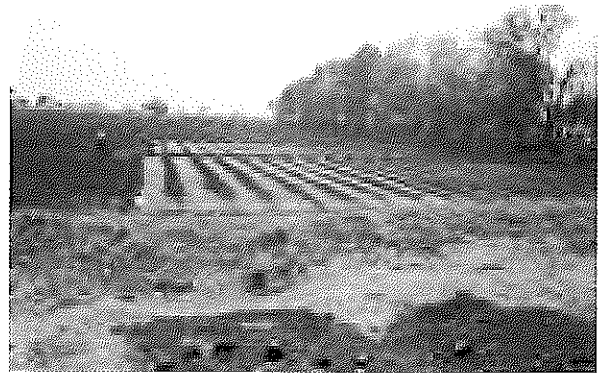
世間からは、臭い、汚いといわれるインドで、農村に行ったらどんなにヒドイ事が待ち受けているのか心配になるかもしれませんが、実際に農村を訪れると別の意味での臭いはありますが、空気も水もそれなりにきれいです。1-2時間車で走って、最寄りの地方都市まで行けばホテルは有ります。もちろん、快適な5つ星ホテルは無く、食事もインド料理しかない場合が多いですが、お腹を壊すことはイメージほど多くありません。虫よけ、除菌ウェットティッシュ、バナナがあればなんとかなります。



バナナ:生産量ダントツの世界No.1



シュガーケーン:ブラジルについて世界第二位の生産量



綿花の苗床:近年は中国と世界生産量一位を争っています

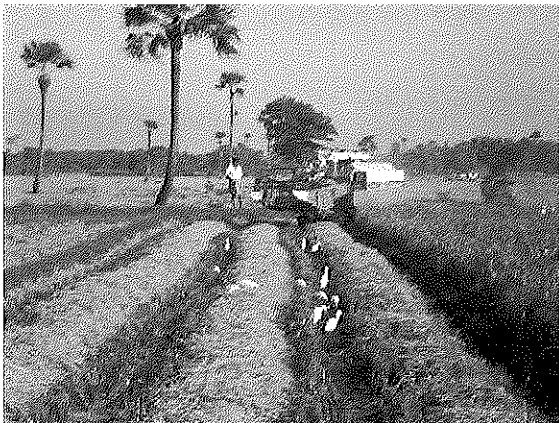


チリ(唐辛子)畑:チリペッパー生産も世界一位!

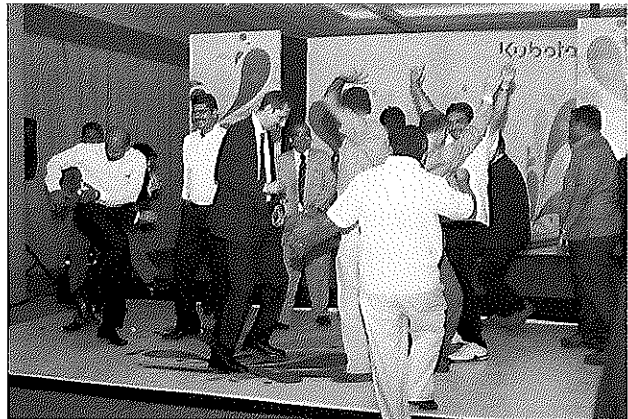
Ⅷ. 最後に

なんだかんだで、チェンナイ駐在生活4年目となり、チェンナイ空港に到着するとホッとすることがなくなってしまいました。快適とはいいがたい生活環境ですが、その分、助けあって生きて行かなければいけないので、日本では得られないような人間関係を築けたり、新しいショッピングモールができたり、毎月のように新しいレストランが開店したり、メトロも一部開通したりと日々発展するチェンナイを体感できる楽しさがあります。

ここチェンナイの発展を見ていると、現在、一部の地域で顕在化している農村での人手不足が確実に拡大し、農機需要が爆発する日も近いのではないかと思います。



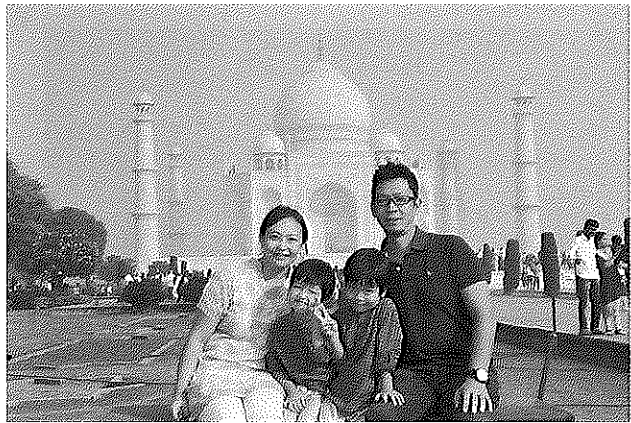
コンバインでの稲刈り風景



二次会は皆でボリウッド音楽にのって踊るのが定番



田植機の市場稼働台数も増加中



初タジマホール(昨年11月筆者と家族)

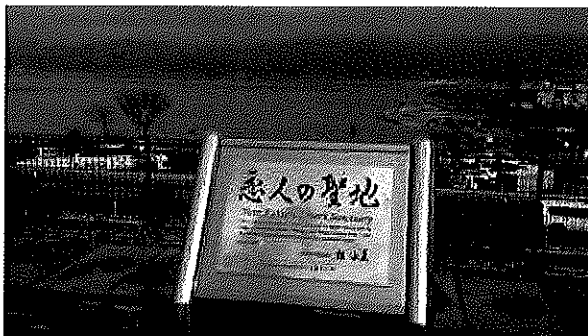


バイク遠征記(西日本編)

出発

急に走りたくなるのがバイクだ。ツーリングには春と秋がベストシーズンだが、走りたくなくなっちゃったんだから仕方ない。ということで、11月の連休を使って、関東の某所から四国・四万十川までの往復2,300kmを走ってきました。

初日は時々小雨の降る寒い曇り空、スタートがこれではこの先が思いやられる。八王子あたりでは気温が8度、切る風が超寒い。思わずPAに逃げ込み、持っている衣類すべてを着込んだ上にレインウェアを着た。勿論、熱々の缶コーヒーで体の内側からも暖をとる。そこまでして走りたいか、走りたいんです！



諏訪湖SAにある桂由美さん寄贈のパネル

諏訪湖SAで昼食をとり、雨上がりで濡れた路面に注意しながら中央高速道を名古屋に向かい、そのままスルーして無事に彦根に到着。まずは初日終了。

2日目

2日目は彦根から渋滞の大阪を走って、山陽道から瀬戸大橋を渡り、大豊ICで降りる。ここでバイク仲間2人と合流し、国道439号線(通称ヨサク)を西に向かって走る。四国の道は空いていて、

かつ適度に曲がっていて楽しい。スイスイ軽快に走って、四万十川上流の宿に無事到着。ここまでの950km。



四万十川の上流



ヘルメットを脱ぐとただのオジサン

3日目

3日目は一番オイシイ四万十川沿いの国道381号線を速度?kmで突っ走る。

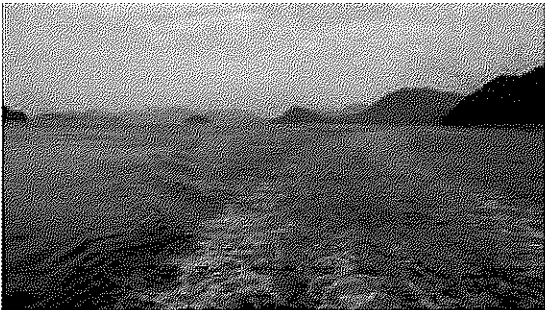
対向車もなければ前後にも車は走っていない、そりゃあ飛ばすでしょう?!

小雨の天気予報だったが、途中から日が差してきて、道の駅でレインウェアを脱いでも日差しが背中に当たって温かい、さすがに四国だ。



来島海峡大橋(世界発の三連吊り橋)

予定より早く走りすぎたので、しまなみ海道を途中で降りて、大三島からフェリーで岡村島へ渡る。



フェリーの航跡(向こう岸は今治)

ここから5つの小さな島が橋で繋がっており、俗に「安芸灘とびしま海道」と呼ばれ、途中で県境を越えると、愛媛県から広島県になります。

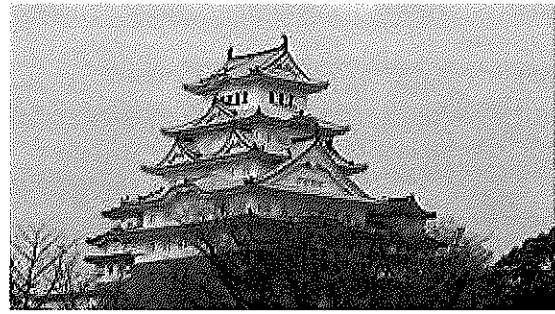
穏やかでキラキラ輝く瀬戸内海を眺めながら走るコースなので、バイク野郎にお奨めの道だ。そのまま気持ち良く走って広島には暗くなってから無事到着、ほっ。

4 日目

さあ、あとは帰るだけ。疲労を考えて4日目は大阪までの楽々コース。朝、広島市内を出発し、国道2号線を東へ東へと走る。気がついたら周りをトラック軍団に囲まれており、道も混んできたので山陽道に乗ってビシビシ突っ走る。

時間的に余裕があったので、途中の姫路で降りて、リフォームした姫路城に立ち寄る。あまりに綺麗になっちゃって映画のセットのようにも見える。観光客がワンサカ来ており、駐車場はどこも車の待ち渋滞になっていた。お城に入場するのもさぞや待たされるんでしょうね。なので、遠くか

ら写真を撮って、ハイさようなら。



キレイになった姫路城

良いことばかりは続かないのが世の常、吹田ICを降りる頃には雨が降り出してしまった。停車してレインウェアを着るのも面倒なので、びしょ濡れになりながら走って、ビジネスホテルへ逃げ込んだ。最後に雨に降られたが、午後2時に到着。距離的にはちょっと楽チンすぎる1日でした。

5 日目

5日目がこれまたイイ天気になり、新名神高速道から伊勢湾岸高速道、東名高速を経て、春のような日差しの中を新しい第2東名高速道路をスイスイ走る。バイクツーリングにとって、これ以上ない絶好の天気になりました。

富士山だって、ほら、このとおり！



東名高速からのMt. Fuji

静岡県の東名を走っている間中、左を見ればいつも大きな富士山がそばにいる、こんな楽しいタンデムがあるだろうか。

東名から圏央道を走って無事に家に到着、意外に疲労感がないのは何故だろう。何はともあれ、5日間で2,300kmの西日本バイク遠征は無事完走したのでした。腰が痛い・・・。(丁)

除雪機による

事故を防ごう!

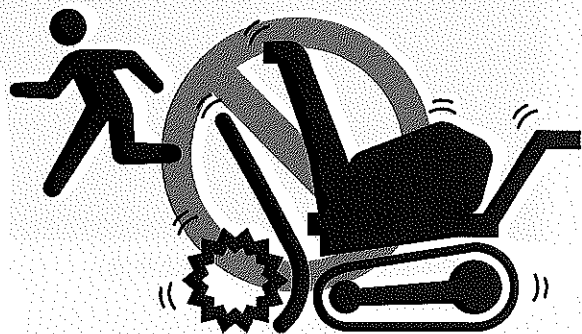
使用者の責任において、正しく、安全に作業しましょう

人がいる時は 使わない!



作業中は絶対にまわりに人を近づかせない。

エンジンを 掛けたまま 離れない!



作業の時以外は、必ずエンジンを停止する。

雪かき棒を 使って!



雪詰まりを取り除く時は、エンジンを止めて必ず雪かき棒を使う。

後方注意!



後進する時は、足もとや後方の障害物に気をつける。



必ず取扱説明書をよく読んで、正しい使い方を理解してください。搭載された安全機構の使い方を理解し、正しく利用してください。



除雪機安全協議会では「歩行型除雪機の安全規格」を策定し、普及に努めています。

除雪機安全協議会

一般社団法人 日本農業機械工業会

<http://www.jfmma/or.jp/>

除雪機安全協議会

検索

Photo Gallery ③1



福岡県 清水 悟さん

タイトル: 雪だるま保育園

歩道に雪だるまが沢山。お店の人たちが、一生懸命雪だるまを作ってくれたのがわかり、こういうのうれしいですね。溶けずに長い時間、道行く人を楽しませて欲しい。

東京都 尾崎美知子さん

タイトル: 悲しいトリコロール

フランスでテロが起こり多くの一般市民がお亡くなりになりました。エッフェル塔がトリコロールカラーの電飾で、世界中に平和と犠牲者への追悼を発信しました。日本でも、東京スカイツリーが仏国旗に染められ、亡くなられた方々へのご冥福をお祈りしました。



滋賀県 脇谷光三さん

タイトル: 大変やで

国立新美術館にて、芸術作品と云われても、おっちゃんには、さっぱりわかりません。



兵庫県 大八木朝子さん

タイトル: 明治時代栄光の島

長崎港から30分で軍艦島に到着です。当時は学校、病院、神社、プールまであり、日本で一番電化製品が普及していたそうです。軍艦島！すごい！

群馬県 上田靖男さん

タイトル: フックが…

ウルトラマンに遭遇しましたが、後ろを見ると肩甲骨にフックがありました。子供のころ、僕のヒーローだったのに夢がこわれます。(>_<)



高知県 太田重友さん

タイトル: 沈下橋

四万十川にかかる沈下橋です。橋の欄干が無いので、歩いても怖いのですが、ご老人がスイスイと渡って行きました。

四万十川は清流で、手長エビ、アユなどが美味しく自然をゆっくり満喫できる場所です。



神奈川県 西村丈夫さん

タイトル: 私も五郎丸

私が通う門前仲町「魚三市場」の女将
83歳です。昨年、一躍有名になった
ラグビー五郎丸選手のポーズです。

大阪府 椎名陽子さん

タイトル: 冬の白川郷

岐阜白川郷です。雪深くとても寒いですが、
茅葺き集落の春は、まだまだ先のように
ですが、田んぼに雪が積もっていないのは、
なぜですか？



富山県 坂井郁美さん

タイトル: 真冬のショーウィンドー

東京の銀座通りで、歩道を歩く人の視線は
ショールームの水着にいてしまいます。
ダウンコートに身を包む者に、奇をてらった
効果は絶大ですね。

投稿写真を募集しています

- ・次回夏季号の写真切りは平成28年5月20日です。ジャンルは自由です。
- ・フィルムカメラや、デジタルカメラで撮影した写真を、必ずタイトルとコメントを添えてご応募下さい。採用された方には記念品を送らせていただきます。

応募先: 一般社団法人日本農業機械工業会 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8

E-mail: sunflower@jfmma.or.jp

新社長の紹介

〈三菱マヒンドラ農機株式会社〉

末松正之(すえまつ・まさゆき)氏が1月1日付でCEO代表取締役社長に就任されました。



末松社長の主な経歴は、1986年4月三菱

重工業(株)入社、2007年5月三菱重工業(株)汎用機・特車事業本部企画経理部連結経営推進グループ主席、2008年6月三菱農機(株)監査役(兼務)、2009年1月三菱重工業(株)汎用機・特車事業本部企画経理部次長、2012年1月三菱農機(株)常務取締役、2012年6月リョーノーファクトリー(株)取締役兼務、2014年4月三菱重工業(株)機械・設備システムドメイン事業戦略総括部企画管理部次長、2016年1月1日より三菱マヒンドラ農機(株)CEO代表取締役社長にご就任。

新社長に抱負を語っていただきました。

「外資系として新しい出発に臨む三菱マヒンドラ農機ですが、基本は国内事業です。国内でお客様に認められる商品とサービスを提供するという基本に立ち返ることを最重要取組事項に位置付けます。その上で、マヒンドラとの提携により海外にもより広く目を向ける所存です。世界中のお客様に価値をお届けしていく所存です。」

趣味は、音楽鑑賞(ポップ・ロック)、読書、ドライブ

座右の銘は、「着眼大局 着手小局」

福岡県出身、血液型はA型
昭和38年8月25日生(52歳)
家族は夫人と高校生のご子息一人

(本社所在地)

〒699-0195

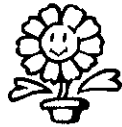
島根県松江市東出雲町掛屋667-1

三菱マヒンドラ農機株式会社

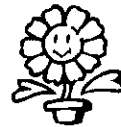
TEL0852-52-2111(代)/FAX0852-52-5877

ホームページ <http://www.mam.co.jp>

三菱 トラクタ、耕うん機、管理機等整地機械、田植機、野菜移植機等栽培用機械、コンバイン、バインダ、ハーベスタ等収穫調製用機械、その他農業用機械、育苗・米穀・花卉栽培・菌床栽培・低温処理等施設、各種ハウス等建築土木工事、生ゴミ処理機等廃棄物処理施設、その他産業用機械



編集後記



- ▽ エルニーニョ現象の影響で今年の冬はどうも暖冬らしい。ただし、暖冬になるだけなら寒がりの人には朗報だが、さまざまな異常気象をもたらすのがエルニーニョのやっかいなところだ。過去には、記録的な大雨や洪水、竜巻による大災害が発生している。自然現象は人間の力では避けられないが、備えあれば憂い無し、ということに尽きる。
- ▽ 2015年11月にアグリテクニカ2015が独・ハノーバーで開催され、多くの入場者で盛況だったが、気温は2年前に比べたら暖かいくらいだった。どうも、ドイツでも今年は暖冬ようだ。これもエルニーニョの影響だろう。



会場内は多くの入場者でいっぱい



広い展示会場は巡回バスで移動

- ▽ 日本からハノーバーへの直行便がないため、今回はパリ経由にした。そのパリも今年は暖冬で、11月だというのに日中の最高気温が20度を超え、半袖シャツで街を歩く人が多く見られた。11月12日(木)の夜にパリを発ったのだが、その翌日にイスラム国によるテロが発生した。運が良かったとしか言いようがない、あ〜危なかった。その後、各地でテロらしき事件が散発しており、海外出張も注意が必要だ。
- ▽ 世界主要国の農業機械工業会の集まりであるアグリエボリューションのイベント Agrievolution Summit が2016年1月21日にトルコのイスタンブールで開催される。トルコはイスラム国家であるが、宗教的には穏健派であり、レストランでは普通にお酒も飲める。治安は比較的好いので、それほど心配はしていないが、「備えあれば憂い無し」、何を備えればいいのか・・・。

